

# ロシア 東 欧 経 済 速 報

社 団法人 ロシア東欧貿易会  
ロシア東欧経済研究所

東京都中央区新川1-2-12 金山ビル 郵便番号104 電話 (3551)6215~9  
購 読 料 送料共前納 ・ 1ヵ月 1,200円 1ヵ年 14,000円

平成6年10月15日

No. 969

## ロシアの自動車産業の現状と課題

### はじめに

先頃、8月の24日から28日にかけて、モスクワで「国際オートサロン」が開催された。『フィナンシャル・イズベスチヤ』紙はこれにあわせて特別号を発行し(1994.8.23、№37)、ロシアの自動車産業の動向について特集した。そこで今回は、このなかからいくつかの記事をピックアップし、翻訳して紹介する。

ここで紹介するのは4つの記事で、まず1では、ロシアにおける需要の変化に自動車産業が的確に対応すべきであることが論じられている。2では乗用車生産、3ではトラック生産の現状と展望が示されている。最後に4では、あるバス・メーカーの事例を取り上げて、政府の取り組みが立ち遅れていることが批判されている。

### 1. 市場へのきめ細かな対応と総合的アプローチが必要

ロシアではトラックによる輸送は運輸全体の7%を占めるにすぎないが、外国ではその割合は25~40%にも達する。

個人農場の発達、商業企業の民営化、個人住宅をはじめとする住宅建設量の増加、短距離貨物の鉄道輸送からトラック輸送への切り替えといったファクターを考慮すれば、将来的に見てトラック輸送の増大が期待される。